

田口佳史さんに問う 【石門心学】



講師

東洋思想研究家
株式会社イメージプラン代表取締役会長

田口 佳史 Yoshifumi Taguchi

【オンラインのみ】今後の状況にかかわらずオンライン(Zoom)で開催します。丸の内キャンパスでの開催はございません。

日本の資本主義の原点を訪ねる

資本主義の弊害が指摘され、新しい資本主義の登場が待望されています。そうした時に私達がもう一度改めて学び直すべきは、明治の近代化に際し、日本における資本主義の精神の形成に大きな役割を果たしたと評される「石門心学」ではないでしょうか。勤勉や儉約など、商道の根本を説いた「梅岩教学」が根付いていた土壌があったからこそ、わが国に近代商業が見事に花開いたといえます。その思想は今に続く複数企業の経営理念にも影響を与えています。

日本の資本主義の原点模索をして“温故知新”の真髄に触れましょう。

田口 佳史

4・4 | 月
18:30-21:00

石田梅岩 人と思想
(何から始まったのか)

1

「石門心学」の祖、石田梅岩の人生とその思想の成り立ちを追いつながら、その説くところの何が彼を始祖としたのかを探ります。

5・23 | 月
18:30-21:00

手島堵庵・中沢道二について
(心学の確立)

4

梅岩教学を「石門心学」にまで高めた手島堵庵、そして中沢道二とはいかなる人物で、どのような思想の持ち主なのかを「坐談随筆」「知心弁疑」(堵庵)「道二翁道話」(道二)から探ります。

4・18 | 月
18:30-21:00

梅岩教学の根幹
(明治近代化から見る)

2

梅岩教学の特性と独自性を「都鄙問答」と「儉約齊家論」を読みながら考察し、何が時代の要請に応じたのかを知ります。

6・6 | 月
18:30-21:00

商人道・経営道
(その影響の要点)

5

明治の近代化において、「石門心学」の何が貢献したのか、有効であったのかを明確にし、改めてその意義を学びます。

5・9 | 月
18:30-21:00

梅岩教学の展開
(心学への進展)

3

儒家の心学と区分する「石門心学」としての梅岩教学の発展の過程と要点を、「都鄙問答」「儉約齊家論」「石田先生語録(抄)」「莫妄想」などから明確にします。

6・20 | 月
18:30-21:00

結局「石門心学」とは何か

6


その後の系譜である鎌田柳泓、柴田鳩翁の業績に触れながら、21世紀の新しい資本主義に対し、何らかの「石門心学」からの提言を行い「まとめ」とします。

石門心学とは

石田梅岩(1685～1744)が神道を説くことから始まり、次第に儒学、仏教、老荘思想に広がり、やがて彼自身が呉服商の奉公人であったため、周辺の商人や町人に「人としての在り方」を説くようになりました。45歳の時、自宅で講義を開講し、死ぬまで「心の在り方」を説き続けました。

弟子の手島堵庵(1718～1786)によって継承され、梅岩独特の表現を一般的に改め、更に組織体制を整備するなどして、梅岩学を「石門心学」へと上昇させました。その弟子中沢道二(1725～1803)によって農村指導者層から武士階級に至るまで広がり民衆思想としての確立も見せました。

開催概要

日程	2022年 4/4、4/18、5/9、5/23、6/6、6/20 (すべて月曜日)
開催形態	オンラインのみ 丸の内キャンパスでの開催はございません。
回数	6回
時間	18:30-21:00(2.5時間)
定員	25名
会場	オンライン(Zoom)
参加費	110,000円(税込)
おすすめしたい方	・生きる上での哲学や価値観の重要性を認識し、醸成したい方 ・中国古典の思想・考え方を経営、ビジネス、人生に役立てたい方
申込み	http://www.sekigaku-agera.net/ 

講師プロフィール

田口 佳史(たぐち よしふみ)

1942年生まれ。株式会社イメージプラン代表取締役会長、一般社団法人日本家庭教育協会理事長、一般社団法人東洋と西洋の知の融合研究所所長など。「東洋思想(儒・仏・道・禅・神道を有機的に融合させた思想や哲学)」を基盤とする独自の経営思想体系「タオ・マネジメント(東洋思想的経営論)」を構築・実践、数多くの企業経営者と政治家を育て上げてきた。社会人教育に関しては、延べ1万名(2000社)超への提供・支援実績を有する。これまで掲げてきた理念(東洋と西洋の知の融合)をより高い次元に発展させ、「21世紀にふさわしい人となるための新しい指針」をも世界に向けて提唱すべく精力的に活動中。

主な著書

『仕事で一生悩まないための菜根譚の教え』(知的生きかた文庫)
『「大学」に学ぶ人間学』(致知出版社)
『論語と老子の言葉～「うまくいかない」を抜け出す2つの思考法』(だいわ文庫)
※慶應MCCで開催された講座の講義内容が書籍になりました(下記5冊)。
『ビジネスリーダーのための「貞観政要」講義』(光文社)
『孫子の至言』『老子の無言』『論語の一言』(光文社知恵の森文庫)
『渋沢栄一に学ぶ大転換期の乗り越え方』(光文社新書)
『論語と老子の言葉』(だいわ文庫)
『佐久間象山に学ぶ大転換期の生き方』(致知出版社)
『横井小楠の人と思想』(致知出版社)
『超訳 孫子の兵法』『超訳 論語』(三笠書房)
『なぜ今、世界のビジネスリーダーは東洋思想を学ぶのか』(文響社)

講座の開催方法

本講座は【オンラインのみ】で開催いたします。今後の状況にかかわらず、丸の内キャンパスでの開催はございません。お申し込みにあたっては、下記をご確認くださいませようよろしくお願いいたします。

【オンラインのみ】



オンライン開催とは

・オンラインのみで開催します。丸の内キャンパスでの開催はございません。

オンライン参加について

- ・オンライン会議システム「Zoom」を使って配信します。
- ・パソコン(またはスマートフォン、タブレット)およびインターネット環境があれば、どこからでもご参加いただけます。
- ・Zoomを初めてご利用の方には操作方法をサポートいたします。

お問い合わせ

東京都千代田区丸の内2-5-2 三菱ビル10階 株式会社慶應学術事業会
TEL:03-5220-3111 info@keiomcc.com



今後の状況によっては対応施策が変更となる場合もございます。ご理解とご協力のほど、何卒よろしくお願いいたします。